



形は心を整える

校長 作田潤一

「御船中生徒の活躍を新聞等で見る機会が多く、素晴らしいと感じている。私は御船町出身で美里町に嫁いで64年になるが、歳をとるごとに故郷への愛着が増す。御船中生徒の活躍は誇りでもあるし、元気が出る。」

これは、先日、学校にお電話いただいた方の言葉です。

学校は子どもの10年後の姿を思い描きながら教育活動を実践するとともに、地域の10年後に思いを馳せて学校経営をしなければならないと考えています。

それは、特別なことをするのではなく、工夫した教育活動や生き生きとした生徒の姿で、地域に元気を与えることだと思います。また、御船町で子育てをしたいという人を増やすことでもありと考えます。

生徒一人一人が生き生きと個性や自分の力を伸ばすためには、集団の支持的風土が土台です。お互いに関心をもって、共に伸びていくことを志向した温かい関わりのある集団の雰囲気を支持的風土と呼びます。その支持的風土を醸し出すのは、規律ある落ち着いた生活態度です。

心は形をつくり 形は心を整える

という言葉があります。義務教育の段階は形を覚える時期でもあります。形が身についてこそ、豊かな発想を生かす術も生まれます。

あいさつ、返事、場に応じた身なり・言葉使い、様々なマナー。

家庭や地域と協力して、社会で活躍するための基盤を培いたいと考えます。

少年の主張熊本県大会

7月の県中体連大会に御船中歴代最多の団体種目に出場しましたが文化面でも頑張っています。

第43回「少年の主張」熊本県大会が9月4日（土）に開催されました。熊本県大会へは各市町村教育委員会の推薦、さらに各地域振興局の選考、最後に熊本県、熊本県教育委員会及び熊本県青少年育成県民会議の三者による事前審査会の審査を通過した14人しか出場できません。上益城郡の代表として本校1年生の栗崎美湖さんが出場し、入選に選ばれました。「鉄壁を努力で」というタイトルで、主張を堂々と述べる姿はたいへん素晴らしかったです。10月10日に開催する学習成果発表会で発表する予定です。



2年生道徳「地元紙の記者として」

9月9日（木）に2年生学年道徳の授業に熊本日日新聞社常務取締役である山口和也さんを講師としてお招きしました。熊本地震関連教材「地元紙の記者として」は地元新聞社の記者たちが熊本地震で自らも被災し、厳しい状況にある中で、記事を書き新聞を発行し続けた様子を描いたものです。

山口さんは、「新聞記者たちが懸命に取材を続け、県民に正確な情報を伝え続けられたのは、『県民に正しい情報を伝えなければならない』『これまで発行し続けてきた新聞をここで途絶えさせてはいけない』という仕事に対する使命感、誇り、情熱に突き動かされたからだ」と話されました。そして最後に「働くとは、単にお金をもらうためではない。社会に貢献する重要な営みが労働である。困難な中でも、誇り、プライドをかけて働くときがある。」と語られました。生徒の感想には「自分の仕事に誇りを持ち、一人でも多くの人を幸せにできる人になりたい。」などがあり、今回の授業でたくさんのことを学ぶことができたようです。



令和3年度全国学力・学習状況調査

中学3年生を対象に5月に実施されました令和3年度全国学力・学習状況調査結果の概要をお知らせします。

○学力調査

国語は全国平均、県平均と比較してわずかながら下回っています。数学は全国平均をわずかに上回り、県平均を大きく上回っています

○質問紙調査（抜粋）※当てはまる、どちらかといえば当てはまるの値

- ・朝食を食べている 92.1%
- ・自分でやると決めたことは、やりとげるようにしている 82.7%
- ・人が困っているときは、進んで助けている 87.8%
- ・人の役に立つ人間になりたいと思う 97.1%
- ・友達と協力するのは楽しいと思う 95.7%

10月の主な予定

- 2日（土）熊本県中学校総合体育大会陸上競技大会
- 5日（火）英検 I B A
- 8日（金）学習成果発表会準備（午後）
- 10日（日）学習成果発表会
- 11日（月）振替休業日（10月10日分）
- 14日（木）学校へ行こうデー②
夢輝き！教育講演会⑤
- 15日（金）郡中学校総合体育大会駅伝競走大会
- 18日（月）3年生上級学校説明会
- 19日（火）3年生上級学校説明会
- 28日（木）上教委連指定御船中学校区「学力向上」研究発表会